

消防庁指揮隊車



▶指揮隊車 消防庁全国配備車両45台

・ベース車

トヨタ ハイエース スーパーロング

・寸法

全長5380x全幅1880x全高2470mm

・特徴

緊急消防援助隊が出動する大規模災害時において、派遣される各都道府県隊のコントロールタワーとなる車両です。

移動式指揮台、パソコン、プリンター、デジカメ、無線機、トランシーバー他の情報収集・分析に必要な資機材を積載し、救援各隊への指示、情報伝達を効果的に行うため配備されました。

・関係リンク・消防庁

<http://www.fdma.go.jp/ugoki/h2403/22.pdf>

● 詳細





後部座席の前方視界を遮らないキャビネットを採用し、下面には無線機を2台設置しています。このうちの1台は旋回が可能になっており、助手席側からも操作が可能です。



ダッシュボードに「サイレンアンプ」、「電流計」、「作業灯スイッチ類」、「カーナビゲーション・ETC」が集中的にレイアウトされており視認性、操作性に優れています。



乗車シートを後ろ向きに変えられ、後の折り畳みシートを展開すれば打合せにも使用できます。



資器材を効率的に収納できるよう棚板の高さを任意に変えられます。



ストレッチャーを改造した移動式指揮機は、天板はホワイトボード(800mm×1800mm)になっており下側にA3用紙が入る引出を6個備え、畳むと天板の高さが275mmと非常に低くなります。



天板の高さは、890mmから275mmまで6段階に調整できます。